

みずほCustomer Desk Report 2017/03/15号(As of 2017/03/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	114.85 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.92	1.0650	122.40	1.0074	1.2207	0.7567
SYD-NY High	115.19	1.0662	122.63	1.0108	1.2218	0.7580
SYD-NY Low	114.51	1.0600	121.66	1.0070	1.2110	0.7540
NY 5:00 PM	114.73	1.0604	121.69	1.0102	1.2158	0.7558
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.07/9.47		25RR	0.265	Yen Call Over	
NY DOW	20,837.37	▲ 44.11	債券市場			
NASDAQ	5,856.82	▲ 18.97	日本2年債	-0.2550	▲ 0.4bp	
S&P	2,365.45	▲ 8.02	日本10年債	0.0970	0.7bp	
日経平均	19,609.50	▲ 24.25	米国2年債	1.3763	0.4bp	
TOPIX	1,574.90	▲ 2.50	米国5年債	2.1285	▲ 1.0bp	
シカゴ日経先物	19,505	▲ 105.00	米国10年債	2.6002	▲ 2.6bp	
ロンドンFT	7,357.85	▲ 9.23	独10年債	0.4450	▲ 2.6bp	
DAX	11,988.79	▲ 1.24	英10年債	1.2240	▲ 2.3bp	
ハンセン指数	23,827.95	▲ 1.72	豪10年債	2.9220	▲ 1.4bp	
上海総合	3,239.33	2.30	為替市況	USD/CNH	6.9005	0.0042
USDJPY 3M Vol	10.15	▲ 0.03%		ドルインデックス	101.74	0.43
USDJPY 6M Vol	10.05	▲ 0.04%	商品市況	CRB指数	182.118	▲ 1.04
EURJPY 3M Vol	12.80	▲ 0.04%		NY金	1,202.60	▲ 0.50
EURJPY 6M Vol	11.76	▲ 0.08%		WTI	47.72	▲ 0.68
				Dubai Spot	50.13	0.00

**東京**  
 シドニー時間に114円後半で推移したドル円は、一時7時ア時間高値114.98をつけたものの、115円台に乗せるには至らなかった。その後、114.92レベルで東京時間オープン。発表された中国2月経済指標(小売売上高・鉱工業生産・固定資産投資)は予想比強弱混在の結果で市場への影響は限定的。一方で、前日に上昇した米金利が上げ幅を削る展開となる中、ドル円の上値は抑えられ7時ア時間安値114.77をつける。但し、実需勢のドル買いも相応にあったとみられ、下値は限定的となり、ドル円は114円後半で揉みあい推移。イベント待ちの様子見ムードが漂う環境下、午後に入っても動意を欠く状況に変化はなく、114円後半でのレンジ推移が継続。結局ドル円は114.93レベルで海外に渡った。(東京15:30)

**ロンドン**  
 ロンドン時間のドル円は114.93レベルでオープン。朝方は米金利が上昇して全般的にドルが買われる展開となり、ドル円は115.19の高値まで上昇。その後は欧州株が軟調地合となり米金利が上げ渋る中、サウジアラビアの2月の産油量を日量1000万バレル強へ同26万バレル増産したとのOPEC月報が報道されると原油価格が下落。加ドルが統着する中でドル円もつれ安となり、114.80まで下落した後、115.00レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.21台前半から半ばでレンジ推移。朝方は1.2161レベルでオープンし、朝方のドル買いに押され1.2110まで下落。その後小幅ながら値を戻し、1.2124レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 日比野00531 444 179)

**ニューヨーク**  
 海外市場のドル円は一時高値の115.19まで上昇し、115.00レベルでNYオープン。朝方発表された米2月PPI最終需要(前月比)は予想を上回ったが、市場への影響は限定的。石油輸出機関(OPEC)が発表した3月月報において、サウジアラビアの2月産油量が1月から増えていたことが明らかになり、昨年11月の減産合意遵守への不透明感が生じ、WTI原油は11月以來となる47.09まで急落。安寄りした米株がエネルギーセクターを中心に一段とマイナス幅を拡大したことや、米金利も軟調であったことからドル円は一時安値114.51まで下落。しかしFOMC会合を控えていることや、前日安値の114.48が意識されたこともあり、この水準では下げ渋った。その後のドル円は様子見ムードが漂う中で114.80まで上昇し、114.73レベルで海外に渡った。一方ユーロドルは1.0633レベルでNYオープン。「大統領候補フィッツを訴追、家族への公金不正支払い問題」との記事が報じられ、メルケル氏、マクロン氏に次ぐ次期大統領候補の選挙離脱懸念が強まる中、ユーロドルは上値の重い展開。安値1.0600をつけた後、1.0604レベルで海外に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:末木・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月14日	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	2月 9.5%/8.9%/6.3%	10.6%/8.3%/6.2%
	16:00	独 CPI(確報・前月比/前年比)	2月 0.6%/2.2%	0.6%/2.2%
	16:00	独 EU基準CPI(確報・前月比/前年比)	2月 0.7%/2.2%	0.7%/2.2%
	19:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	1月 0.9%/0.6%	1.3%/0.9%
	19:00	独 ZEW調査(現状/期待)	3月 77.3/12.8	78.0/13.0
	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	2月 0.3%/2.2%	0.1%/1.9%

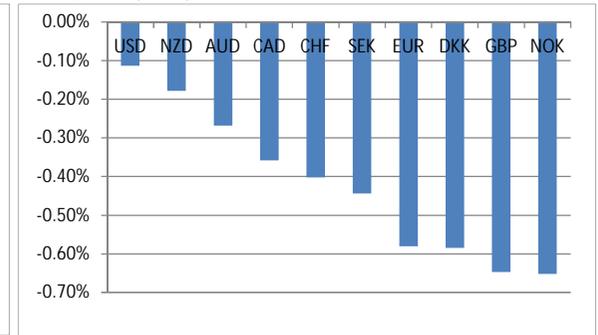
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月15日	13:30	日 鉱工業生産(確報・前月比/前年比)	1月 -/-	-0.8%/3.2%
	18:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	1月 4.8%	4.8%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	3月 15.0	18.7
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	2月 0.0%/2.7%	0.6%/2.5%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	2月 0.2%/2.2%	0.3%/2.3%
	21:30	米 小売売上高(速報・前月比)	2月 0.1%	0.4%
	-	蘭 下院選挙	-	-
3月16日	03:00	米 FOMC政策金利	-	0.75%-1.00%
	03:30	米 イエレンFRB議長 記者会見	-	0.50%-0.75%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-116.00	1.0550-1.0750	120.50-123.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は下落。米長期金利がやや低下する中、ドル売り優勢となりドル円は114円台半ばまで下落したが、FOMCを前に積極的な売買は控えられ、大きな値動きには繋がらなかった。本日開催予定のFOMCでは25bpsの利上げが予想されており、F先物金利から計算される市場の利上げ織り込みは100%近い。こもとFRB高官からは利上げに前向きな発言が相次いでいることから、足許は本FOMCでの利上げ有無ではなく、今後の利上げペースの変化に市場の注目は移っている。FOMC後にはイエレンFRB議長による記者会見が予定されているが、今後の利上げ見通しに関するヒントが出る可能性もあり、こもと方向感の出にくかったドル円相場に材料を与えることも考えられることから市場動向にはいつも以上に留意する必要がある。基本的には利上げペースに修正は加えられず、114円台を下値に上値リスクを孕んだ値動きを予想する。